



Cisco Nexus Dashboard Insights
Explore、リリース 6.5.1 : Cisco NDFC
またはスタンドアロン NX-OS 用

目次

- 新規情報および変更情報 2
- 検索と探索..... 3
 - 検索と探索について 3
 - 注意事項と制約事項..... 3
 - 検索と探索の実行 5
- 著作権 8

初版：2024 年 7 月 28 日

米国本社

Cisco Systems, Inc.
170 West Tasman Drive
San Jose, CA 95134-1706
USA

<http://www.cisco.com>

Tel: 408 526-4000
800 553-NETS (6387)
Fax : 408 527-0883

新規情報および変更情報

次の表は、最新リリースまでの主な変更点の概要を示したものです。ただし、今リリースまでの変更点や新機能の一部は表に記載されていません。

Cisco Nexus Dashboard Insightsの新機能と変更された動作

特長	説明	リリース	参照先
検索と探索	新しい[検索と探索 (Search and Explore)]を使用すると、Nexus Dashboard Insights によって管理されるすべてのファブリックで IP または MAC アドレスを検索し、show コマンドを実行して異常を表示できます。	6.5.1	[検索と探索 (Search and Explore)] について
技術変更	「サイト」という言葉は「ファブリック」に変更されました。	6.5.1	ドキュメント全体

このドキュメントは、Nexus Dashboard Insights の GUI およびオンラインで www.cisco.com で入手できます。本書の最新バージョンに関しては、「[Cisco Nexus Dashboard Insights](#)」の「[Documentation](#)」を参照してください。

検索と探索

検索と探索について

[検索と探索 (Search and Explore)] を使用すると、Nexus Dashboard Insights によって管理されるすべてのファブリックで IP アドレスまたは MAC アドレス、インターフェイス名、またはスイッチ名をすばやく検索し、数秒以内に結果を表示できます。また、**show** クエリを作成して、インベントリ、インターフェイス、エンドポイントなどの異常、アドバイザリ、コントローラ、およびスイッチを表示することもできます。[検索と探索 (Search and Explore)] では、さまざまな要素間の相互の通信方法や関連付けに関する質問をして、クエリを探索し理解を深められます。、

サポートされるクエリのタイプ

[検索と探索 (Search and Explore)] は、次のクエリをサポートしています。

- ・ **[What クエリ (What Query)]** : さまざまなネットワーク エンティティの相互関連に関する情報を得られます。

[What endpoints are associated with interface] の例: *topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/3]* または *VRF:uni/tn-secure/ctx-ctx1* に関連付けられています。

- ・ **[Show クエリ (Show Query)]** : Nexus Dashboard Insights に現在表示されているファブリック全体のさまざまなオブジェクトを表示するために使用されます。異常、アドバイザリ、スイッチ、コントローラ、エンドポイント、インターフェイス、フローなどに対して show クエリを実行できます。

注意事項と制約事項

検索と探索に関する注意事項および制限事項

- ・ 検索は、IPv4 および IPv6 アドレスでサポートされます。
- ・ 検索文字列を入力すると、自動サジェストは入力された文字列で始まる結果を表示します。大文字と小文字は区別されます。
- ・ 検索は、リーフ スwitchのハードウェアおよびキャパシティ リソースには使用できません。
- ・ 場合によっては、ポート チャネル、仮想ポート チャネル、仮想ポート チャネル ピア リンクなどのインターフェイス タイプのキーワード検索はサポートされません。
- ・ [検索と探索 (Search and Explore)] のスケール制限は次のとおりです。
 - 仮想Nexus Dashboardでは、100,000の論理ルールと350,000 (頂点+エッジ)のスナップショットをサポートしています。
 - 物理Nexus Dashboardでは、300,000の論理ルールと1000,000 (頂点+エッジ)のスナップショットをサポートしています。

クエリに関する注意事項および制限事項

- ・ What *X to any association* クエリは、単一のファブリックでのみサポートされます。
- ・ What クエリの保持期間は 7 日間です。その後、What クエリは履歴検索に表示されません。
- ・ NX-OSファブリックの場合、この機能は、ファブリック内のVRF、VLAN、インターフェイス、エンド

ポイント、およびリーフスイッチのリソースのスイッチ全体のビューを提供します。また、レイヤ2 VNIおよびレイヤ3 VNIをリソースとして提供します。

- ・ リソース集約は、VLANおよびVRFリソースでサポートされています。リソース集約では、VRFやVLANなどのリソースがファブリック全体で検出され、すべてのリーフスイッチがこれらのリソースによって集約されます。**[クエリ結果] エリアで、What VLANs are associated with any?** のクエリを実行すると、ファブリック全体で使用可能なすべての VLAN のリストが表示されます。EPとLEAFの数はVLANごとに集約され、集約されたリソースカウントをクリックすると、単一のVLANに関連付けられているすべてのEPとLEAFを見つけることができます。

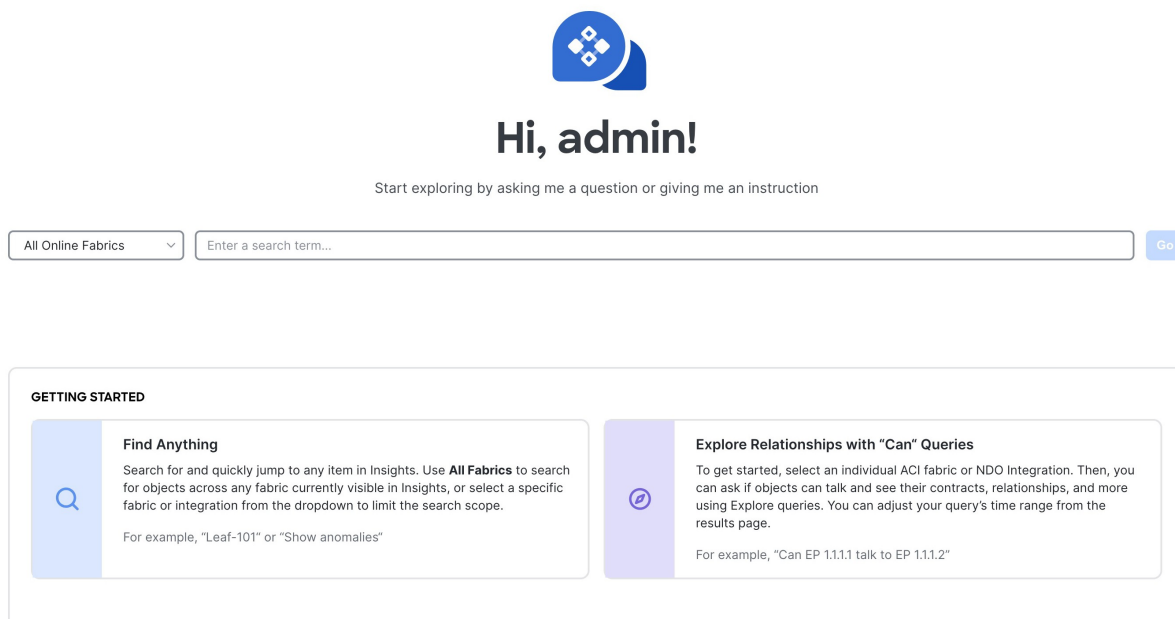
また、VLANおよびVRFクエリはファブリック全体が対象となるため、特定のリーフスイッチ上のVLANリソースを調べる場合は、クエリで **AND** 演算子を使用する必要があります。たとえば、**What EPs are associated with VRF:vrf-vrf_51020 and LEAF:CANDID-SYS-S1-L1** などです。

- ・ リーフ スwitchのインターフェイスなどのネットワーク アセットは、**[検索と探索 (Search and Explore)]** で調べることができるように、リーフ スwitchのエンドポイントに関連付ける必要があります。
- ・ VRF が動作していない場合、**[検索と探索 (Search and Explore)]** はエンドポイントをレイヤ 2 エンドポイントとして検出します。エンドポイントは、レイヤー3またはレイヤー2エンドポイントとして検出されます。VLANに存在するすべてのエンドポイントが検出され、他のエンドポイントは無視されます。
- ・ **[検索と探索 (Search and Explore)]** でエンドポイントまたはその他のネットワーク アセットが表示されない場合は、関連するスナップショットでシステムの異常を探します。すべてのリーフスイッチで収集が成功したことを確認します。収集が失敗した場合、結果的にエンドポイントが検出されないことがあります。
- ・ VNI および/または VRF で学習されたエンドポイントに基づいているため、NDFC ベースのファブリックのこの機能で特定の **WHAT** クエリが機能するには、VNI または VRF でエンドポイントを使用する必要があります。エンドポイントが利用できない場合、VRFまたはL3 VNIのWhatクエリは正確な結果を表示しません。

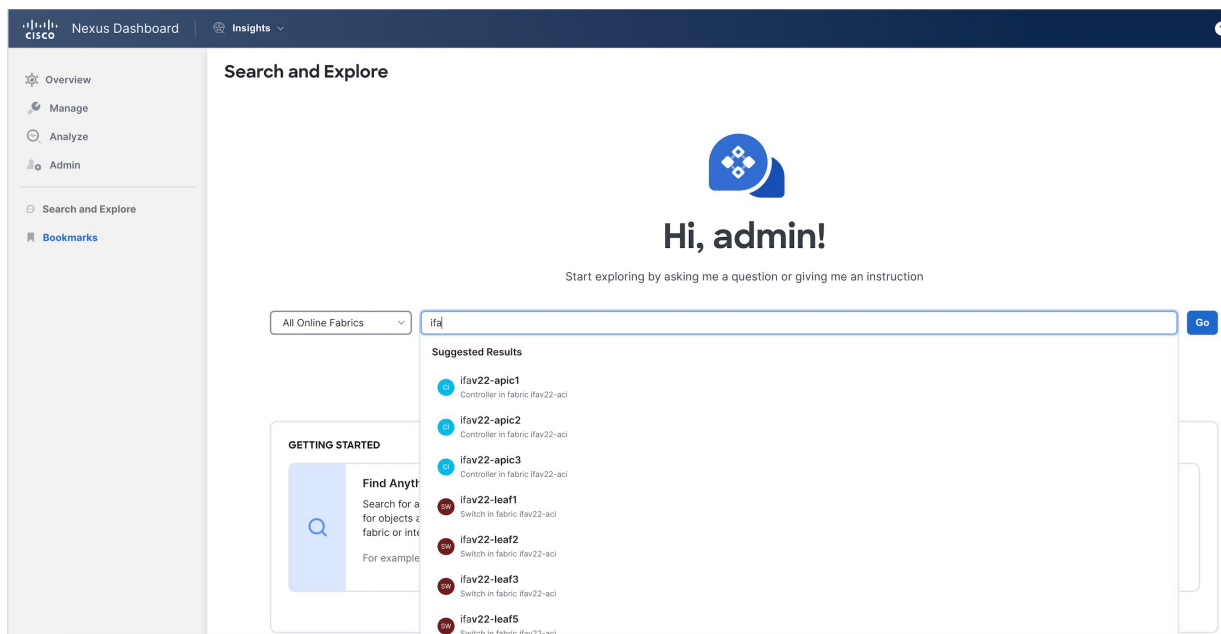
検索と探索の実行

1. [検索と探索 (Search and Explore)] をクリックします。

Search and Explore



2. ドロップダウン メニューから、[すべてのオンライン ファブリック (All Online Fabrics)] または単一のファブリックを選択します。
3. キーワード検索
 - a. キーワード検索を実行するには、IP または MAC アドレス、インターフェイス名、またはスイッチ名の入力を開始します。最初の 3 文字のアルファベットおよび数字の入力を開始すると、自動提案の結果が表示されます。

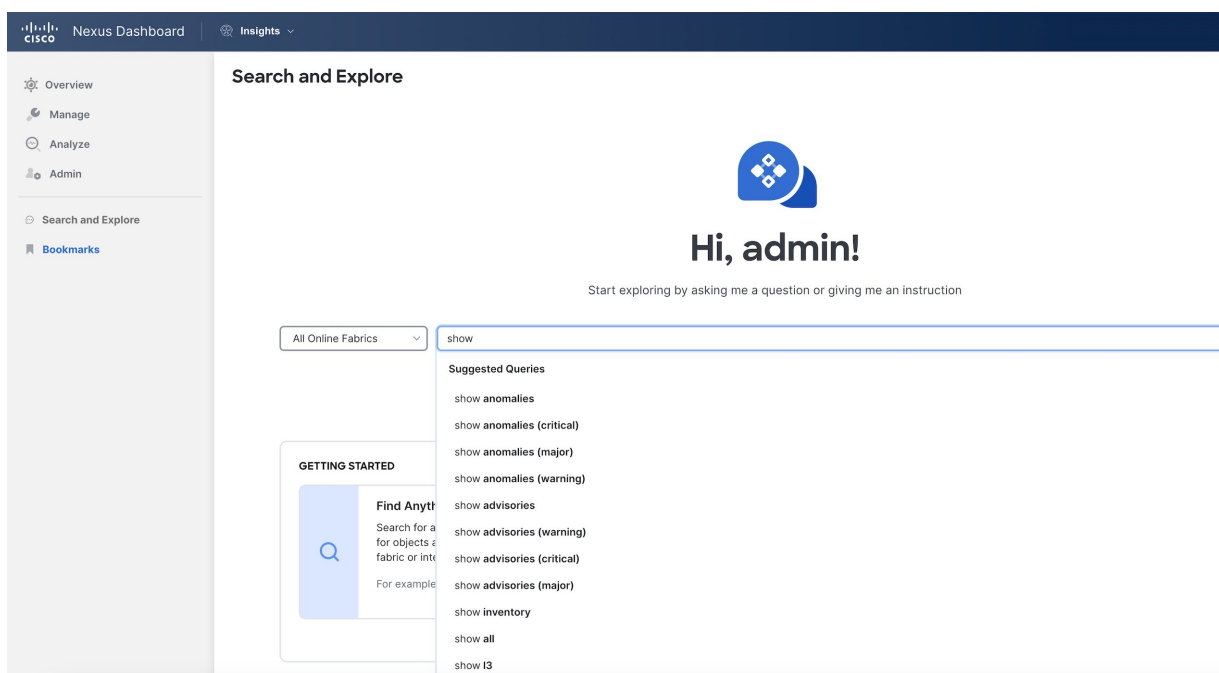


キーワード検索は、オンラインファブリックでサポートされています。キーワードの検索では、大文字と小文字が区別されます。

- b. 提案された結果から結果を選択し、**【実行 (Go)】** をクリックします。
- c. デフォルトでは、**【現在アクティブ (Active Now)】** の検索結果が表示されます。[日付と時刻 (Date and Time)] セレクタから、特定の時間の結果を表示する時間範囲を選択します。
- d. MAC および IP アドレス検索の場合、エンドポイントページが表示されます。スイッチとインターフェイス名の検索では、インベントリ ページが表示されます。

4. Show クエリ

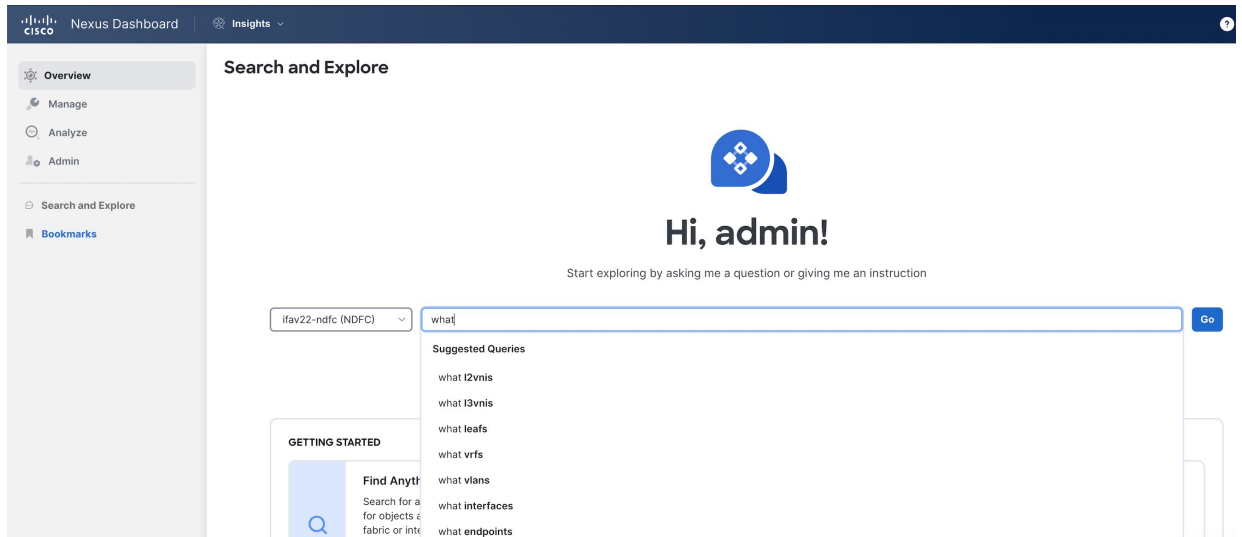
- a. 異常、アドバイザリ、スイッチ、コントローラ、エンドポイント、インターフェイス、フローなどに対して show クエリを実行できます。
- b. show クエリを実行するには、**show** と入力します。入力を開始すると、自動提案の結果が表示されます。



- c. 提案された結果からクエリを選択し、**【実行 (Go)】** をクリックします。
- d. デフォルトでは、**【現在アクティブ (Active Now)】** の検索結果が表示されます。[日付と時刻 (Date and Time)] セレクタから、特定の時間の結果を表示する時間範囲を選択します。
- e. show クエリの結果は、フィルタを使用して既存の [Insights] ページに表示されます。

5. What クエリ

- a. このクエリは、**【どのエンティティが相互に関連付けられていますか (What entities are associated with each other?)】** という質問に答えるのに役立ちます。
- b. what クエリを実行するには、ドロップダウン リストから単一のファブリックを選択し、**what** と入力します。
- c. 入力を開始すると、自動提案の結果が表示されます。



- d. 提案された結果からクエリを選択し、**[実行 (Go)]**をクリックします。
- e. デフォルトでは、**[現在アクティブ (Active Now)]** の検索結果が表示されます。[日付と時刻 (Date and Time)] セレクタから、特定の時間の結果を表示する時間範囲を選択します。
- f. 表形式で表示されるクエリ結果。

著作権

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任となります。

対象製品のソフトウェア ライセンスと限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されており、この参照により本マニュアルに組み込まれるものとします。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

シスコが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記代理店は、商品性、特定目的適合、および非侵害の保証、もしくは取り引き、使用、または商慣行から発生する保証を含み、これらに限定することなく、明示または黙示のすべての保証を放棄します。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアルの中の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

この製品のマニュアルセットは、偏向のない言語を使用するように配慮されています。このドキュメントセットでの偏向のない言語とは、年齢、障害、性別、人種的アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、およびインターセクショナリティに基づく差別を意味しない言語として定義されています。製品ソフトウェアのユーザインターフェイスにハードコードされている言語、RFP のドキュメントに基づいて使用されている言語、または参照されているサードパーティ製品で使用されている言語によりドキュメントに例外が存在する場合があります。

Cisco およびCisco のロゴは、Cisco またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。商標または登録商標です。シスコの商標の一覧は、<http://www.cisco.com/go/trademarks> でご確認ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナー関係が存在することを意味するものではありません。(1110R)。

© 2017-2024 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.